



発行
東区人権尊重啓発連絡会議
事務局：東区総務部
生涯学習推進課
(TEL645-1144)
(FAX651-5097)
題字 池見 裕道氏
挿絵 田村真知子氏

「令和3年度 総会・研修会」開催

東区人権尊重啓発連絡会議

東区人権尊重啓発連絡会議は、人権尊重に向けて差別のない明るいまちづくりをめざすことを目的として、東区の各種機関・団体により構成され、区内で研修会や講演会などの人権啓発活動を行っております。

今年度の総会は7月9日に東市民センターなみきホールで開催し、令和2年度の活動報告と3年度の事業計画が承認されました。

総会に引き続き、「孤立死防止のために、今私達にできること」現場から見た孤立死防止・セルフネグレクトと孤立死」というテーマで特定非営利活動法人孤立防止セン

第50回 人権を尊重する市民の集い

昭和23(1948)年12月10日、「世界人権宣言」が国連で採択されたことを受けて、わが国では毎年12月4日から10日までの1週間を「人権週間」と定めています。福岡市では、この期間を「福岡市人権尊重週間」と定め、集中的な啓発活動を行っています。

そのひとつとして、令和3年12月8日(水)に東市民センターなみきホールにおいて、「第50回 福岡市人権尊重週間 人権を尊重する市民の集い」(主催/福岡市人権尊重行事推進委員会)が開催され、情報文化総合研究所代表取締役・武蔵野大学名誉教授の佐藤佳弘さんが講演されました。

インターネットによる人権侵害、中傷投稿の被害者を救え、情報文化総合研究所代表取締役 武蔵野大学名誉教授 佐藤 佳弘さん

インターネットによる人権侵害 インターネットは子どもから大人まで誰もが使う道具になっていきました。便利な道具ではありますが、ネット上のトラブルや事件・犯罪も多く発生するようになっています。中にはそれが原因で命を自ら断つ人も出てきました。警察に寄せられる相談件数は年間1万件を超えます。

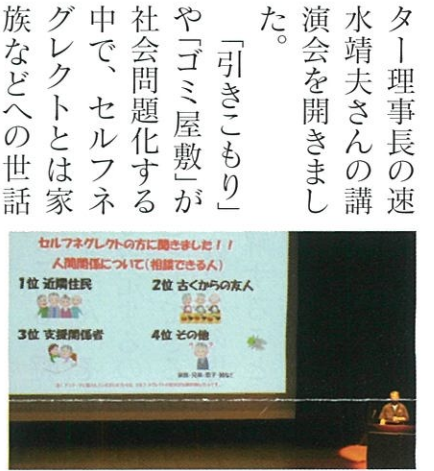
ネット上での人権侵害 対象はタレントやアスリートに限らず誰もが被害者になっていま

ター理事長の速水靖夫さんの講演会を開きました。

「引きこもり」や「ゴミ屋敷」が社会問題化する中で、セルフネグレクトとは家族などへの世話や介護の放棄ではなく、自分自身の食事や着替え、入浴など生活上必要な行為を放棄して、健康や安全を損なうことを言います。このように方に対しては家族や地域の「目配り」「心配り」「心配り」の3つの心が必要であり、また「孤立しない、させない」ためには「家族を愛する」「人を愛する」「互いを思いやる」の3つの心が必要であると話されました。最後にこの問題に対しては自分たちだけの価値観で判断せず、

内容も名誉毀損、侮辱、信用毀損、脅迫、さらし、ネットいじめ、児童ポルノ、ハラスメント、差別……など様々です。

安心・安全のネット社会へ このような状況を踏まえ、侮辱罪、名誉毀損罪など罰則強化が図られようとしています。法整備が追い付いていないのが現状です。被害にあわないためには、まず、未然に防止することが必要です。被害者にならないために、自撮り写真・悪ふざけ・職場の情報などの投稿はしない。加害者にならないために、人物の写真・デマや噂・人の情報などを転載・転送しないことが必要です。次に早期発見をするために、ネット検索やリアルタイム検索を行う事も必要です。もしも被害にあったら、スルー(無



参加者の声

●身近にSOSを出せる友人知人が必要。
●セルフネグレクトの実例を聞き人間関係の重要性を理解した。地域に伝えたい。

- ### 令和3年度 東区人権尊重啓発連絡会議 活動のあゆみ
- 7月 ○総会・研修会
講師：NPO法人孤立防止センター 速水靖夫さん
 - 12月 ○人権を尊重する市民の集い参加
左側の記事をご参照ください
 - 2月 ○人権を考えるつどい(中止)
=映画主映「最強のふたり」+
 - 3月 ○広報紙「コスモス」発行



活動団体紹介 東保護区保護司会

東保護区保護司会は、事務所を箱崎一丁目に設置し、現在90名の保護司で構成しています。更に保護司は1分区分から6分区分に分かれて所属し、地域での更生保護活動を行うと共に、各種機能部の犯罪予防活動部、研修部、協力組織部、総務部の部員として活動しています。

犯罪予防活動部は、6月7月に全国で展開する「社会を明るくする運動」で7月に東区のみみきスクエアにて東区大会を開催し、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする運動を行っています。その他、東区全校区の公民館に協

力を頂き、「生きる力・支える力」のパンフレットや花の種を配布し「非行や犯罪のない地域に花を咲かせましょう」と呼びかけ、福岡市が展開する「一人一花運動」にも貢献しています。

研修部は、定期研修の他、今年は一泊二日で研修旅行を実施し、一日目は熊本城・新阿蘇大橋・大野勝彦美術館・九重「夢」大吊橋、二日目は大観峰・由布院・旧蔵内邸を見学に行き、自然災害からの復活力、また一人ではなく支えられて生活している事などを研鑽しました。

協力組織部は、協力雇用主の方やBBS会等と連絡を取り、社会参加活動等を行っています。今年の名島神社・宗栄寺の清掃活動を実施しました。

総務部は、各種会議の開催、適任保護司の確保に向けた活動を強化する他、機関紙「東風(こち)」を年2回発行しています。また、ホームページを開設し、会の活動をはじめ保護司間の活動も掲載し、速やかな広報を行い更生保護活動の理解と協力を得るため推進しています。



馬出校区の活動紹介

30年目の節目に

馬出校区人権尊重推進協議会 会長 松尾 裕子さん

馬出校区人権尊重推進協議会は、平成3年(1991年)5月に東区3番目の人権尊重推進協議会として発足しました。

本年度、30年目の節目を迎え校区の皆様が残る記念行事を行いたいとパレードを考えました。コロナ禍の中で不安を抱えながら、約一年前から会議を重ね、小・中学生の皆さまに標語を募りながら少しずつ準備を重ねてゆき40個のプラカードを作成しました。

若男女の皆さまが行進曲とともにプラカードを掲げてのパレードを行いました。



この30年を節目に、今後も人権尊重推進協議会発足の基盤となる「基本的人権」に幸せに生きる権利が不当に侵されることの無いよう「人権のまち馬出」をスローガンに掲げ、人にやさしく「馬出に住んでよかった」と喜ばれる「町」をめざして、活動を続けてまいります。

30分程のパレードでしたが馬出校区の歴史の1ページを飾るにふさわしいパレードを開催することが出来た事は、自治協議会会長をはじめ多くの皆さまのご協力なしでは考えられません。ここに改めて感謝申し上げます。

今回の30周年記念パレードに際しご協力、ご支援を頂いた多くの皆さま方に厚く御礼申し上げます。

30周年記念パレード開催

本年度、30年目の節目を迎え校区の皆様が残る記念行事を行いたいとパレードを考えました。

コロナ禍の中で不安を抱えながら、約一年前から会議を重ね、小・中学生の皆さまに標語を募りながら少しずつ準備を重ねてゆき40個のプラカードを作成しました。



人権標語プラカード

自治協議会会長をはじめ多くの皆さまのご協力なしでは考えられません。ここに改めて感謝申し上げます。

令和3年度 東区『人権セミナー』

講師・福岡こども短期大学特任教授 武部 愛子さん

令和3年10月28日(木)東市民センターなみきホールにおいて、東区「人権セミナー」を開催しました。講師に、福岡こども短期大学特任教授で福岡市教育委員の武部愛子さんに「今どきの子どもの理解を通して」をテーマに発達に特徴がある子どもへの理解と関わり方について講演いただきました。約230人の参加者を見て盛況のうちに終わることができました。



講話の内容の一部を紹介いたします。

今の子どもたちは社会全体が、何をしたら良いのか悪いのかがはっきりしていないために自分を律する力が弱くなっている。そういう子ども達であることを理解しないといけない。その中で、発達に特徴がある子どもは「病氣」ではなく「個性」として捉えることが大切で、発達に特徴をもつ子ども達にとって「悪いところを治さない」ということは「別人になりなさい」ということで、それは

無理なこと。時間や手間はかかっても否定せず、相手の気持ちを受け入れることが大切になってきます。発達に特徴を持つ子ども達は、自分が正しいと思つた言動が否定され続けると、不登校や非行といった二次障がいが起こります。その時は、少しずつ成功体験を積み重ねさせることが必要となります。

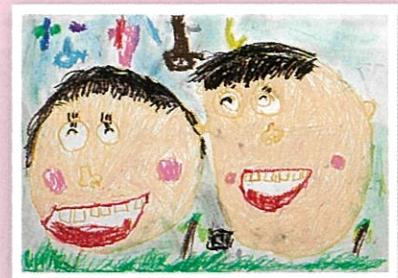
発達に特徴をもつ子どもも、将来社会に出ないといけません。そのため自分の個性を否定するのではなく受け入れることができるようにし、他者の思いは自分の思いとは違うことを理解することが、社会性やコミュニケーションのスキルを学ぶにつながるのです。以上のような力を身に付けさせる



講師のお話を聞いて、発達に特徴をもつ子どもに限らず、すべての子どもが自己実現できるような環境を作ることが大人の責任だと実感しました。

人権尊重週間 東区の入選作品から

ポスター



小学1年生



小学3年生



中学3年生



小学5年生



小学4年生 (福岡市代表作品)

人権標語

- ぼくときみ おんなど命 変わらない 小学5年生
- いじめゼロ マスクのなかも ニコニコで 小学5年生
- 育てよう 人の気持ちに 寄り添うココロ 小学5年生
- さべつがなくなるまほうの言葉 みんなちがってみんないい 小学5年生
- 気づこう。 笑ってない人が いることに。 小学6年生
- 知らんふり あの子の「助けて」 受けとめて 小学6年生
- 大丈夫？ その一言が 思いやり 小学6年生
- そのコメント 本名出して 言えますか？ 中学2年生
- 戦争(あらしい)は 子供の夢(みらい) 壊なくすもの 中学3年生